



発行日：平成 28 年 10 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第 34 回川部会WGを開催しました！

9 月 23 日（金曜日）に第 34 回川部会WGが豊田市柳川瀬公園体育館 会議室にて開催されました。今回の WG では、上郷柳川瀬排水機場の設計内容について愛知県豊田加茂農林水産事務所より説明いただき、事業の進め方および魚の滞留場について意見交換を行いました。

日 時：平成 28 年 9 月 23 日（金）13:30～17:00  
会議場所：豊田市柳川瀬公園体育館 会議室  
参加者：27 名（事務局含む）



### ◆主な意見交換内容

#### 1. 本日の話し合いでわかったこと、決まったこと



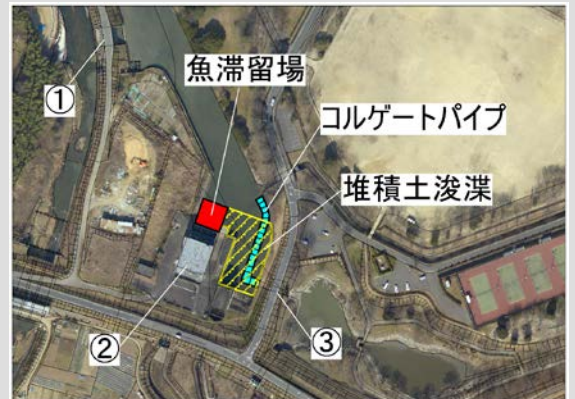
##### ■上郷柳川瀬排水機場の設計内容について

上郷柳川瀬排水機場の設計内容について愛知県豊田加茂川農林水産事務所より説明がありました。

- 西大排水路の川底を一律に掘削し、全体をフラットにします（EL 16.34）。
- 現排水機場下流側を現況から 50cm 掘削し、魚の滞留場所として水深 1m の深場を確保します。
- 魚の滞留場について、水底に凹凸を持たせると良いと阿部さんの提案がありました。
- コンクリートのアルカリ成分が承水溝へ流出してしまう懸念があるため、吸水槽の築造後 1 年 10 か月の養生期間をもたせたいので吸水槽と承水溝を繋げます。
- 工事は、本年度 11 月から着工予定です。

##### ■現地調査

- 下記のルートで回りました。
  - ①承水溝-長池（ひょうたん池）段差箇所
  - ②上郷柳川瀬排水機場→③家下川-承水溝段差箇所
- 工事予定地を見学し、工事の予定位置と内容を確認しました。
- 排水機場では魚が好む環境について説明があり、工事施工時の注意点について意見交換を行いました。
- ひょうたん池ではホテイアオイ・アカウキクサ・アサザが大繁殖し水面全体が覆われていました。



#### 2. 今後のスケジュールについて



- 10月14日（金）：加茂川水門の魚道設置について、白浜地区および加茂川水門の現地見学
- 11月11日（金）：広域サイクリングロード構想、河川愛護活動の矢作川流域圏への展開
- 12月9日（金）：総合土砂管理における給砂実験の報告、白浜地区モニタリング報告

#### 3. 意見交換

- 出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

（●意見 ➤回答）

##### （1）上郷柳川瀬排水機場の設計内容について

##### ■現地調査前の意見交換

- 魚の滞留場を造る際に、重機でプールのように掘り水底を平面に固めてしまうのではなく、魚にとっては凹凸がある方がよい。できれば掘った状態のままにしてほしい。（阿部）
  - 凹凸を持たせる場合、どのような凹凸を持たせるのかを作業者に伝えることが難しい。（鷲見）
  - 特に底面については、掘りっぱなしで田んぼをおこしたような状態でいい。（阿部）
- A3 図面に記載してあるコルゲートパイプとは、どのようなものなのか。将来的にはなくなるのか。（吉川）
  - 雨が降ったときに本来ポンプで排水されるひょうたん池の水が承水溝の方に強制的に排水するように、鋼製のパイプを仮設で入れる計画をしている。将来的には撤去する予定である。（清水）

- ・コルゲートパイプを用いた排水は、ポンプで行うのか。(光岡)
  - 今の遊水地よりもひょうたん池の方が水位が高いので自然流下させている。(水野)
- ・普通に考えると、ひょうたん池の方が水位が高いので、そのまま流下するのではないのか。(光岡)
  - 大雨の際に矢作川の河川の水位が上がると、ひょうたん池の水位の方が低くなるため、水が抜けなくなってしまう。工事中はポンプによる強制排水ができないため、パイプが必要となる。(水野)
- ・何故一度浚渫して盛り土してまた盛り土を取り去るのか。(内田)
  - 浚渫土砂はヘドロのような柔らかいものを想定しているので、そのまま盛り土をすると底面が安定しなくなってしまう。そのため先に浚渫して、盛り土後、最終的にはまた浚渫したところまで切り下げる。(事務局)
- ・盛り土を撤去する際に深場をもっと増やしたらどうか。(阿部)
  - どれだけの量になるのか限度が分からないが、40-50 cm 程度余分にユンボで掻くなどであれば可能なのではないか。(事務局)
- ・最終的な仕上げの段階で水底を整地する前に阿部さんに見てもらってはどうか。(内田)
  - 水底に凹凸をつくると低いところだけを計ってしまう可能性があり、工事されているところが、設計上の示した数量に足りていないと指摘されてしまう可能性がある。(水野)
- ・水底の形状については施工が終わりに近づいてから相談してはどうか。(内田)
  - 最初からやった方が簡単である。今年の工事が終わって新しい排水機場ができて、古い排水機場を壊したときに一緒につくるのが良いと考えている。(水野)

#### ■現地調査後の意見交換

- ・今年度の事業の終了は3月なので難しいとは思いますが、事業後に現地を見て、次年度以降の事業に対して何か工夫できる点について考える場があっても良いのではないだろうか。(内田)
  - ワーキングに限らず魚の退避のための掻い掘りの実施について周知をすることは可能である。(事務局)
- ・掻い掘りはヘドロばかりで危険なため、ある程度経験がないとできないと思う。ヘドロが多い場合の掻い掘りは網を使って集める等、色々なノウハウがあると思う。他でやったところの経験を聞いておいた方がいいと思う。(内田)
  - 事業者としてはできることとできないことがある。掻い掘りで実施する際に事業者と方法について相談していくことになると思う。(事務局)



#### (2) 振り返り

**よかったと思うこと：**現地調査で現況を見て、今後の施工のおよその手順と魚類への対応を把握することができた。/愛知県から、前回の要望を受けて具体的な提案があったこと。/出席者の川に対する思いがきけたこと。/具体的な計画が承水溝でできてきたこと。/わかりやすい工事図面に感謝。現地との対応がきちんとできた。/現地見学がよかった。矢作川本流と家下川の関係づけ。農業保全用施設と魚類保護の配慮を考慮して工事の計画がされていること。またホテイアオイの大量発生など異常気候を感じることもできた。/上郷排水機場内部から周囲を観察してこれまで違った印象を感じたこと。

**来年度、取り組んでいきたい活動など：**モデルから一般化の方向を進めるようにしていきたい。/河川側道の除草、外来種などの健全化評価調査、農業用悪水施設の多機能高レベル化への改良提案、水生植物などの併設施設化など。

**質問など：**話し合いは工事に伴う生物への配慮中心であったが、ゴミの対策等も検討が必要ではないか。

#### 今後の流域圏懇談会の予定

##### ■第35回川部会WG

日時：平成28年10月14日(金) 13:00～ 豊田市防災ステーション

内容：加茂川水門の魚道設置について、白浜工区および加茂川水門の現地調査

※詳細日時はMLにて決定します。



#### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、技官 宇野

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。

